

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立勿来第一中学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立勿来第一中学校 第1学年63名 第2学年80名 第3学年101名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○パラアスリートの講話を聞かせ、夢に向かってあきらめない、強い気持ちを持たせる。 ○車椅子バスケットボールを間近で見たり、体験したりすることにより、スポーツを通じたインクルーシブな視点や社会についての理解を深めさせる。
5 取組内容	○講演会（全校生徒） 演題 「夢を実現するために～あきらめない心～」 講師 車椅子バスケットボール日本代表候補選手 森谷 幸生 様 ・病気の発覚（骨肉腫） ・車椅子バスケットボールとの出会い ・夢を実現させるために



	<p>○車椅子バスケットボール体験 ・ルール説明 ・実技 ・ゲーム</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○講演会を通して、スポーツの意義や価値などへの理解・関心が高まり、障がいのあるなしにかかわらず、生涯を通じて主体的にスポーツに参画する意識が強くなった。</p> <p>○講演後に実施したアンケートでは、「来年度開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに興味がある」に対して、全くそう思う、だいたいそう思う生徒が81.9%、「障がいのあるなしにかかわらず、ともにスポーツに取り組める環境をつくる必要がある」に対しては98.2%、「夢に向かってあきらめない、強い気持ちを持つことは、大切である」に対しては100%であった。</p> <p>○生徒の感想として、車椅子バスケットボールの難しさや楽しさを感じることができた。講師の先生の言葉が心に残ったとの感想が多く見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○地元出身のパラアスリートを講師として依頼し、実技紹介や体験の場を多く設定することにより、生徒のパラスポーツへの興味・関心を高めた。</p> <p>○本校は、夢や希望を持って努力することによって、生徒が自分の成長を実感し、さらに伸びたい学びたいと意欲的に学校生活を送っている姿のある学校を目指している。夢の実現をテーマとした講演会を通し、夢を実現するために、あきらめない心が大切と考える生徒が多く見られるようになり、日頃から夢を大切にさせる学校運営ビジョン推進につながった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○コロナウイルス感染防止を優先したため、講演会以外の事業は制限せざるを得なかった。</p> <p>○車椅子バスケットボールは、代表生徒のみの体験となった。パラスポーツに対する理解を深めるためには、より多くの生徒が体験できるだけの車椅子を準備する必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック開催にあたり、出場予定選手や出場選手による講演会を実施し、プロアスリートの生き方を学ばせると共に、スポーツを楽しむ心を育成する。</p>